学校番号	３１３

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合Ｂ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	国語総合　改訂版　（筑摩書房）						
副教材等	新版六訂　カラー版新国語便覧（第一学習社） 読解をたいせつにする体系古典文法九訂版（数研出版） 体系古典文法準拠ノート　四訂版　（数研出版） 重要な句法と語彙を学ぶ　精選漢文　（尚文出版） 精選漢文　基本練習ノート　（尚文出版） 基礎古典（古文・漢文）　大学入学共通テスト対策新装版　１＋（尚文出版） 読んで見て覚える重要古文単語３１５三訂版（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・伝統的な言語文化に関心を持ち、古典を学習する意義を考えましょう。
・１年生では、有名な古文と漢文の作品を読みながら、基礎的な文法や句法を学習していきます。語彙、文法、句法等の知識をしっかり身につけましょう。
・予習、復習は必ず行いましょう。予習の仕方は授業の中で説明します。
・提出物の期限は守りましょう。
・小テスト、定期テストは学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・古典を読むことに役立つ、基本的な知識を身につけている。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	伝統的な言語、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
四月	古典入門	説話『宇治拾遺物語』 〈文法等〉 ・歴史的仮名遣い ・品詞の分類	○			◎	○	a:古典に親しみ、文章に描かれている人物の心情を読み、異なる立場から読みを深めようとしている。 d: 古典に親しみ、文章に描かれている人物の心情を読み、異なる立場から読みを深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a:行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
五月・六月	古文の物語を読む	物語『伊勢物語』 物語『竹取物語』 〈文法等〉 ・用言の活用 ・音便	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d: 文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
七月	漢文入門	故事成語「朝三暮四」 「塞翁馬」 〈句法等〉 ・訓読の決まり ・再読文字	○			◎	○	a:漢文を学ぶ意義を確認し、漢文に親しもうとしている。 d:文章の組み立てや骨組みを的確に捉えられている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

八月・九月	古文の随筆、日記を読む	『徒然草』 『方丈記』 『土佐日記』 〈文法等〉 ・助動詞	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉えようとしている。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉えている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
十月	様々な漢文を読むⅠ	唐詩「春暁」 史伝「完璧」 〈句法等〉 ・漢詩のきまり ・受身の句法 ・使役の句法	○			◎	○	a:漢文に親しみ、漢文特有の表現を味わい、理解しようとしている。 d: 漢文に親しみ、漢文特有の表現を味わい、理解している。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
十一月	和歌を味わう	和歌『万葉集』 和歌『古今和歌集』 和歌『新古今和歌集』	○			◎	○	a : 和歌に親しみ、書き手が心情、情景をどのように描いているのかをとらえ、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d : 和歌に親しみ、書き手が心情、情景をどのように描いているのかをとらえ、言葉の美しさや深さに気付いている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
十二月	様々な漢文を読むⅡ	思想『論語』 文章『雑説』 〈句法等〉 ・限定 ・部分否定 ・反語 ・疑問 ・詠嘆	○			◎	○	a:漢文に親しみ、漢文特有の表現を味わい、文章の筋道を的確に理解しようとしている。 d: 漢文に親しみ、漢文特有の表現を味わい、文章の筋道を的確に理解している。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

一月・二月	様々な古文を読む	俳諧『奥の細道』 軍記『木曽の最期』 〈文法等〉 ・助詞	○			◎	○	a:それぞれの作品の特徴を捉え、人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉えようとしている。 d: それぞれの作品の特徴を捉え、人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉えている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c：書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「a:関心・意欲・態度」と「e:知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「b:話す・聞く能」「c：書く能力」「 d:読む能力」）に関わる観点には◎を付している。